

# Minami Kyushu University Junior college Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	国際教養学科				
科目名称	コンピュータ会計				授業形態	演習			
科目コード	531735	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		アクティブラーニング	
担当教員名	土田 博							ICT活用	○
授業概要	<p>現代の企業においては、会計業務をコンピュータを利用して行っている場合がほとんどである。この授業では、即戦力養成のために、現実の企業で行われている会計業務を会計ソフトを利用して学ぶ。コンピュータ会計検定における過去問を利用して、実際の入力、財務諸表の出力を行う。皆さんが会社の総務部、経理部等の事務系職種へ就職した場合はもちろんですが、一般社会人として知っておくべき常識についても学びます。</p>								
関連する科目	「経営と会計」「簿記原理」								
授業の進め方と方法	<p>現代の企業においては、会計業務をコンピュータを利用して行っている場合がほとんどである。この授業では、即戦力養成のために、現実の企業で行われている会計業務を会計ソフトを利用して学ぶ。コンピュータ会計検定における過去問を利用して、実際の入力、財務諸表の出力を行います。アクティブラーニングについて：授業の性質上、アクティブラーニング的手法を用いることは想定していない。ICTの活用について：本学情報処理室の機能を利用し、双方向型授業を取り入れたい。</p>								
授業計画【第1回】	コンピュータ会計の知識 : 現在の社会における会計システムの有り様を理解する								
授業計画【第2回】	日常の商取引の基礎知識 : 実務会計における商取引を理解する。								
授業計画【第3回】	企業活動と会計処理 : 企業活動における会計の役割を理解する								
授業計画【第4回】	会計ソフトの操作 : 実際に会計ソフトを利用して入力処理を行う								
授業計画【第5回】	企業の基幹業務と会計処理 : 仕入・売上等の中心となる会計処理を行う								
授業計画【第6回】	税務に関連する業務と会計処理 : 源泉徴収制度について理解を深める								
授業計画【第7回】	会計データの入力処理と集計 : 会計処理の集計作業を学ぶ								
授業計画【第8回】	決算に関連する業務と会計処理 : 手書き簿記とコンピュータ会計の決算方法の違いを理解する								
授業計画【第9回】	会計データの入力練習 ① : 仕訳入力から決算までの一連の入力を行う								
授業計画【第10回】	会計データの入力練習 ② : 決算から集計までの作業を行う								
授業計画【第11回】	月次処理 : 月次決算仕訳、月次の財務諸表を作成する								
授業計画【第12回】	会計情報の活用 : アウトプットされた会計情報の活かし方を学ぶ								
授業計画【第13回】	消費税の処理 : 消費税の決算処理について学ぶ								
授業計画【第14回】	コンピュータ会計検定演習 : コンピュータ会計検定試験の過去問を練習する								

授業計画 【第15回】	まとめ
授業の到達目標	わが国の制度上の会計システムを理解する【知識・理解】 コンピュータを利用した簿記システムを理解し、実際に企業の事務部門において行われている経理処理が出来るようになる。併せてコンピュータ会計検定に合格する。【汎用的技能】 地域企業が求める即戦力としての知識・技能を有する人材となる。【態度・志向性】
学修成果との関連	6. 地域社会への貢献に必要な知識・技能を有する。
授業時間外学習【予習】	授業で行う個所に目を通しておく。前回までに行った箇所を復習しておく（30分程度）。
授業時間外学習【復習】	授業時間内に終了できなかった部分については、コール・ラボ室において入力等を行い、次の回の授業に備えること。また、授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理する。これらを行うには1時間程度の復習は必要である。
課題に対する フィードバック	検定試験の受験結果や解説を、最終授業時間に行います。
評価方法・基準	授業時の提出物50%、定期試験または検定試験50%
テキスト	『コンピュータ会計検定過去問題集』（全国経理教育協会）令和6年版
参考書	『コンピュータ会計基本テキスト』（実教出版）令和6年版
備考	履修者はコンピュータ会計能力検定試験を全員受験します。